

令和3年度

# 総 会 資 料

(令和3年5月)

大 阪 実 業 教 育 協 会

# 令和3年度 大阪実業教育協会総会資料 目次

|                                    |     |
|------------------------------------|-----|
| (1) 総 会 .....                      | P1  |
| (2) 研修員派遣 .....                    | P2  |
| (3) 要 望 書 .....                    | P2  |
| (4) 講演会・講習会・見学会 .....              | P2  |
| (5) 表 彰 .....                      | P3  |
| (6) 研究活動奨励 .....                   | P6  |
| (7) 資料（要望書1）産業教育振興に関する要望 .....     | P8  |
| (8) 資料（要望書2）大学入学者選抜に関する要望 .....    | P10 |
| (9) 資料（要望書3）専門高校卒業生の採用に関する陳情 ..... | P11 |
| (10) 部会長委嘱 .....                   | P12 |
| (11) 会 議 報 告 .....                 | P12 |
| (12) 令和2年度収入支出決算書（案）.....          | P15 |
| (13) 基金の増減 .....                   | P16 |
| (14) 令和2年度 会計監査報告 .....            | P17 |
| (15) 令和3年度 事業計画 .....              | P18 |
| (16) 令和3年度収入支出予算書（案） .....         | P20 |
| (17) 関連事業・行事 .....                 | P21 |
| (18) 会 則 .....                     | P27 |

# 令和2年度 事業概要

## (1) 総 会

### ◆総 会（理事会） 書面審議

本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、総会の開催(令和2年5月15日(金)予定)を中止し、令和2年5月25日を締切日として書面審議での決議をお願いしました。結果については次の通りです。

書面審議書類送付数 131 通、表決書受理数（有効）105 通、（無効）1 通

議案ごとの結果は、

|                         |                    |
|-------------------------|--------------------|
| 第1号議案（令和元年度事業報告並びに決算報告） | 【承認】 105・【承認しない】 0 |
| 第2号議案（令和2年度事業計画並びに予算）   | 【承認】 105・【承認しない】 0 |
| 第3号議案（令和元年度監査報告）        | 【承認】 105・【承認しない】 0 |
| 第4号議案（会則改正）             | 【承認】 104・【承認しない】 1 |

以上の結果

第1号議案から第4号議案まで、全ての議案について、過半数以上の【承認】をもって可決されました。

なお、第4号議案（会則改正）に関して、「合同役員・幹事会の名称について、誤解が生ずる」とのご意見をいただきましたので、ご指摘をふまえて、役員のうち幹事がこの「合同役員・幹事会」の出席者対象であることが明確になるように、文言の修正をしました。

(提案)

会則 第18条 合同役員・幹事会は、全ての幹事、部会の会長、産業教育振興中央会学校代表、大阪産業教育振興協議会長により構成する。

(修正)

会則 第18条 合同役員・幹事会は、本会全ての幹事（役員第9条-5の幹事）、部会の会長、産業教育振興中央会学校代表、大阪産業教育振興協議会長により構成する。

### 令和2年（2020年）度 事業計画

- 1 国内産業研修員の派遣
- 2 実業家・教育者・教育行政当局者との連絡協力を図る事業  
(企業、大学と学校との情報交換等)
- 3 産業教育に関する教員の研究活動、研修などに協力する事業  
(シンポジウム・講演会・座談会・研修会・見学研究会（企業、大学）等)
- 4 生徒に対する研究活動の奨励（研究文・作文・体験発表等と表彰）
- 5 産業教育に関し、公私の諮問に答え、または意見を開申する
- 6 専門高等学校優良卒業生の選奨
- 7 協会基礎強化の取組み
- 8 その他必要と認める事業

## (2) 研修員派遣

### ◆国内産業教育研修員の派遣（45 回）

本年度は新型コロナ感染拡大防止の観点から中止しました。

## (3) 要 望 書

### ◆実業家・教育者・教育行政当局者との連絡協力を図る事業（企業、大学と学校との情報交換等） 要望書・陳情書について

- ① 産業教育振興に関する要望書、専門高校卒業生の採用に関する陳情について

陳情先 関西経済 3 団体

・9 月 17 日（木）大阪商工会議所

・9 月 15 日（火）関西経済連合会

・9 月 28 日（月）関西経済同友会 へ陳情

【公益財団法人産業教育振興中央会 会長 浦野 光人 ほかに 10 団体名の文書】

【大阪実業教育協会 会長 坂元 龍三、大阪産業教育振興協議会 会長 草島 葉子  
連名文書】

- ② 令和 2 年度産業教育振興に関する要望書

・9 月 14 日（金）大阪市教育委員会（教育長宛）

・9 月 16 日（水）大阪府教育庁教育監及び私学課 へ（教育長宛）

・9 月 16 日（水）堺市及び衛星都市教育委員会へ陳情（教育長宛）（郵送）

【大阪実業教育協会 会長 坂元 龍三・大阪産業教育振興協議会 会長 草島 葉子  
連名文書】

- ③ 大学入学者選抜に関する要望書（会員 10 大学長 宛）10 月末で終了（3 大学は郵送）

【持参資料】

令和元年度専門高校卒業生大学推薦入試合格集計 報告、大学アンケート集計表

## (4) 講演会・講習会・見学会

### ◆産業教育に関する教員の研究活動、研修などに協力する事業

（シンポジウム・講演会・座談会・研修会・見学研究会（企業、大学）等）

- ① 研究協議 講演会（第 1 回）

新型コロナ感染拡大防止の観点から中止

- ② 産業教育講演会（第 2 回）（第 1 回が中止のため、同じ内容で実施）

オンラインでの講演会を検討しましたが、新型コロナ感染対策を講じて参集型形式で実施

日時 令和 2 年 11 月 27 日（金）

会場 大阪府立淀川工科高等学校 多目的教室

演題 「Society 5.0 時代の教育について」

講師 大阪工業大学工学部 電子情報システム工学科 教授 小寺 正敏 様

参加 46 名

③ 実技講習会

次の内容で計画しましたが、新型コロナ感染拡大防止の観点から中止

内容 「α-Xplorer(ダイセン電子)を使ったマイコンの基礎」

主催 大阪実業教育協会・株式会社ダイセン電子工業・共催 近畿工業高校校長会

会場 株式会社ダイセン電子工業 大阪本社 定員 10名

④ 見学研修会(会社・工場見学) コロナ禍の状況では実施不可と判断し中止

⑤ 大学見学会

専門高校からの大学進学希望者が増加傾向にあり、過去4回にわたり会員大学に見学会を実施。本年度は、コロナ禍の状況では実施は無理な状況と判断し、進路指導に生かしてもらえるよう、会員大学へアンケートをお願いした。

アンケート項目は次の通りです。

1. 専門高校卒業生の入学後の状況(普通科と比較して)

①成績 ②優位性 ③欠点 ④中退状況等

2. 大学の立場から今後専門高校で重視すべき学習内容

3. 高校で専門的な知識や技術を学ぶ必要性

4. 高校と大学との連携の必要性

5. 国の教育改革の方向性をもとに将来専門高校生に必要と考えられること

## (5) 表彰

### ◆ 御下賜金記念産業教育功労者表彰(産業教育振興中央会の事業)

受賞者: 23名(大阪府10名、大阪市13名)

(60歳以上、勤続30年以上で産業教育に功労のあった人)

伝達式: 令和2年11月4日(水) 10:30～ 東洋紡株式会社 本社ビル 会議室

・坂元会長から表彰状を伝達

・来賓として、大阪府教育庁指導主事、大阪市教育局事務局指導主事

・伝達式後、坂元会長、来賓と記念撮影

|                  |       |         |
|------------------|-------|---------|
| 大阪府立西野田工科高等学校    | 教 頭   | 梶 田 英 志 |
| 〃 淀川工科高等学校       | 校 長   | 阿 部 政 之 |
| 〃 淀川工科高等学校       | 教 諭   | 油 田 孝 一 |
| 〃 淀川工科高等学校       | 教 諭   | 今 井 俊 樹 |
| 〃 淀川工科高等学校       | 教 諭   | 美 馬 誠   |
| 〃 藤井寺工科高等学校      | 教 諭   | 田 中 睦 幸 |
| 〃 藤井寺工科高等学校(定時制) | 教 諭   | 佐々木 均   |
| 〃 藤井寺工科高等学校      | 〃 教 諭 | 熊 本 増 彦 |
| 〃 城東工科高等学校       | 教 諭   | 巽 正 宏   |
| 〃 城東工科高等学校       | 指導教諭  | 八 幡 優   |

|                   |          |         |
|-------------------|----------|---------|
| 大阪市立淀 商 業 高 等 学 校 | 校 長      | 上 山 陽 司 |
| 〃 住吉商業高等学校        | 主務教諭     | 上 田 吉 宏 |
| 〃 住吉商業高等学校        | 教諭（再任用）  | 噉 泰 貴   |
| 〃 都島工業高等学校        | 主務教諭     | 花 谷 夏 代 |
| 〃 都島工業高等学校        | 主務教諭     | 山 本 哲 也 |
| 〃 泉尾工業高等学校        | 教 諭      | 阿 部 兵 武 |
| 〃 泉尾工業高等学校        | 教 諭      | 池 中 浩 之 |
| 〃 生野工業高等学校        | 教 頭      | 中 野 毅   |
| 〃 生野工業高等学校        | 教諭（実習担当） | 本 田 清 隆 |
| 〃 生野工業高等学校        | 教諭（再任用）  | 山 田 善 春 |
| 〃 中 央 高 等 学 校     | 主務教諭     | 林 晃     |
| 〃 第二工芸高等学校        | 主務教諭     | 樋 口 治   |
| 〃 第二工芸高等学校        | 主務教諭     | 眞 先 友 宏 |

#### ◆ 優良卒業生の選奨・表彰

- ・公益財団法人産業教育振興中央会から（産業教育振興中央会会長 浦野光人）優良卒業生（54名）の選奨・表彰を受け、本協会より伝達しました。
- ・本協会並びに大阪産業教育振興協議会から、会員各専門高校の優良卒業生（108名）を表彰しました。（各校2名・副賞付）（本協会 坂元龍三会長並びに大阪産業教育振興協議会 草島葉子会長名）

| 学 校 名（ 高 等 学 校 ） | 大阪実教・大阪産振協 会長賞 |         | 産 振 中 央 会 |
|------------------|----------------|---------|-----------|
|                  | 氏 名            | 氏 名     | 氏 名       |
| 園 芸              | 大 西 拓 磨        | 阿 部 なみき | 梅 尾 菜々香   |
| 農 芸              | 白 井 駿 司        | 佐 藤 茜   | 和 田 尚 汰   |
| 豊中高校 能勢分校        | 小 倉 直          | 門 田 歩 弓 | 合 田 周 平   |
| 枚 岡 樟 風          | 川 上 京 香        | 小 濱 悠 聖 | 藤 中 杏 莉   |
| 西 野 田 工 科        | 鈴 木 直 己        | 矢 崎 隼 人 | 坂 田 葵     |
| 〃 （定時制）          | 園 田 樹          | 金 城 樹   | 本 庄 勇 大   |
| 淀 川 工 科          | 植 松 優 斗        | 吉 田 直 樹 | 内 藤 大 輔   |
| 今 宮 工 科          | 井 上 光 貴        | 濱 田 康 佑 | 飯 田 千 桜   |
| 〃 （定時制）          | 山 根 圭 人        | 白 石 佳 成 | 北 田 悟     |
| 茨 木 工 科          | 山 岸 直 矢        | 小 若 匠 実 | 黒 木 識 勝   |
| 城 東 工 科          | 吉 岡 龍 聖        | 佐 田 勝 磨 | 宇治野 冴 美   |
| 布 施 工 科          | 興 梶 陽 秋        | 磯 田 永 遠 | 稲 里 修 大   |
| 藤 井 寺 工 科        | 杵 本 優 馬        | 山 田 春 香 | 宇都口 航     |
| 〃 （定時制）          | 中 西 翔          | 奈良山 冬 羽 | 廣 田 南 斗   |
| 堺 工 科            | 清 水 優 希        | 平 野 隼   | 大 前 輝 一   |
| 〃 （定時制）          | 新 井 虎 龍        | 木 下 魁   | 大 森 聖玲音   |
| 和 泉 総 合          | 榊 本 愛 香        | 前 田 恒 汰 | 松 本 未 羽   |
| 佐 野 工 科          | 清 水 諒          | 高 瀬 凱 斗 | 水 谷 岐 真   |
| 〃 （定時制）          | 浦 岡 侑 希        |         | 谷 本 隆 行   |

|                 |         |         |         |
|-----------------|---------|---------|---------|
| 成 城             | 山 口 登輝広 | 塩 田 悠 真 | 妹 尾 匠 真 |
| 東 住 吉 総 合       | 浅 香 瞳 実 | 出 淵 拓 真 | 長谷川 咲 蘭 |
| 貝 塚             | 平 野 ほのか |         |         |
| 港 南 造 形         | 政 華 菜   | 向 優理子   | 木 村 汐 音 |
| 西               | 西 岡 愛 瑠 | 上久保 壮 大 | 角垣内 暖   |
| 西               | 森 川 亜 依 | 坂 本 晃太郎 | 野 本 遥 月 |
| 扇 町 総 合         | 蛭 子 夕里奈 | 平 山 ことの | 邨 上 舞   |
| 大阪ビジネスフロンティア    | 竹 田 悠 人 | 田 中 創 流 | 福 井 美 咲 |
| 淀 商 業           | 角 結 衣 華 | 八 田 祐 佳 | 村 中 愛 実 |
| 淀 商 業           | 宮 川 る な | 吉 田 なつみ | 川 口 鈴 麗 |
| 鶴 見 商 業         | 城 瑠 歌   | 山 本 渚   | 有 村 陽 彩 |
| 住 吉 商 業         | 小 池 陽 菜 | 花 吉 夢 咲 | 大 塚 希 咲 |
| 都 島 工 業         | 松 内 敦 司 | 安 田 楓 麻 | 土 井 雅 雄 |
| 東 淀 工 業         | 春 口 漸 悟 | 榊 谷 優 斗 | 植 田 光 城 |
| 生 野 工 業         | 太 田 美沙希 | 坂 平 有 希 | 橋 本 悠 吾 |
| 泉 尾 工 業         | 江 藤 大 介 | 柿 田 美 咲 | 栗 原 元 汰 |
| 工 芸             | 花 谷 美 月 | 本 多 咲 人 | 大 西 玲 衣 |
| 咲 く や こ の 花     | 田 中 嵐 士 | 中 本 朋 花 | 平 井 理 子 |
| 中 央             | 西 川 涼 菜 | 齋 藤 羽 音 | 成 田 りおん |
| 都 島 第 二 工 業     | 植 野 凱 翔 | 花 畑 京 介 | 田 畑 昇 馬 |
| 第 二 工 芸         | 呂 相 順   | 山 崎 奈緒美 | 林 桃 夏   |
| 堺 市 立 堺（全日制）    | 萩 原 凌 玖 | 栗 山 明日菜 | 富 澤 雪 乃 |
| 〃（定時制）          | 中 谷 真 輔 | 山 本 龍之介 | 尾 坂 綜 太 |
| 東 大 阪 市 立 日 新   | 小 島 唯 暉 | 古 賀 ユリア | 小 松 美 穂 |
| 岸和田市立産業（全日制）    | 吉 田 崇 人 | 北 埜 睦   | 大 濱 未 悠 |
| 〃（定時制）          | 金 澤 雄 大 |         | 田 中 翔 翼 |
| 昇 陽             | 池 澤 綾 音 | 松 下 深乃里 | 松 坂 美 優 |
| 興 國             | 古 家 海 斗 | 川 上 幸 太 | 北 田 正 利 |
| 大 商 学 園         | 山 口 琉 輝 | 藤 井 七 海 | 石 田 直 也 |
| 星 翔             | 野 内 聖 人 | 韓 山 隆 成 | 吉 村 雷 汰 |
| 大 阪 電 気 通 信 大 学 | 宮 田 健 吾 | 山 口 拓 也 | 南 野 聡 汰 |
| 向 陽 台（通信制）      | 武 田 愛 海 |         | 佐 藤 藍   |
| 〃（通信制）          | 小 田 隼 也 | 上 村 暢 應 | 長 坂 絃 汰 |
| 〃（通信制）          | 伊 藤 穂乃果 | 浅 井 悠 太 | 光 武 海 玲 |
| 〃（通信制）          | 井 阪 茉 央 | 川 澄 明 里 | 今 西 雄 吾 |
| 長 尾 谷（通信制）      | 中 尾 真 彩 | 西 玉 匠 海 | 小 玉 り あ |
| 科学技術学園（通信制）     | 前 川 敬 汰 |         |         |
| 太 成 学 院         | 古 賀 將 大 | 藤 田 圭一郎 |         |

## (6) 研究活動奨励

### ◆専門高校生徒の研究活動奨励に関する事業（令和2年9月～12月）

専門高等学校生徒の研究文・作文の募集・表彰

我が国が発展し活力ある社会を築いて行く上で、「しごと」に直結する知識や技術を学ぶ専門高校には、大きな期待と役割が求められている。このため、専門教育に対する社会からの関心を高め、専門高校の活性化を図るため、専門高校の生徒を対象に、（公財）産業教育振興中央会及び（公社）経済同友会の共催による「専門高校生徒の研究文・作文コンクール」が実施されている。

本協会においても大阪産業教育振興協議会と共催で審査・表彰をした。（9月）

本年度は研究文8編と作文6編の応募があった。

農業分野：研究文8編、作文2編、工業分野：作文4編の計14編を中央会へ応募

本年度は産業教育振興中央会の審査において入選はありませんでした。

### 大阪実業教育協会・大阪産業教育振興協議会の審査結果

#### 研究文

##### { 優秀賞 }

##### ①「新規アミラーゼ発酵カビを発見」

大阪府立園芸高等学校 バイオサイエンス科 バイオ研究部

3年 為本 紫央

##### ②「コショウランの栽培」 ～根端培養から出荷まで～

大阪府立園芸高等学校 フラワーファクトリ科

3年 栗栖菜久花、森田 大翔、三好 寿征、辻本 遼、藤川 魁人

2年 谷田 美桜、藤原 詩織、山添 日和

1年 山本ゆり菜、米山優里

##### { 優良賞 }

##### ①「コケの大量増殖技術開発」

大阪府立園芸高等学校 バイオサイエンス科 バイオ研究部

3年 高橋 美乃、山本くるみ

2年 豊川 愛里

##### ②「大阪府池田市地域に適したバタフライガーデンづくり」

大阪府立園芸高等学校 ビオトープ部

2年 織田 一輝、薩摩 祐太、吉川 卓見

1年 伊東 琉斐、入口 桜太

##### ③「マンネンタケの抗酸化活性に関する研究」～ DPPH 法と ABTS 法による測定から～

大阪府立園芸高等学校 バイオサイエンス科 微生物部

3年 難波 勇多、三明 時也、樽谷 和華、増田 考佑、川崎 裕斗

##### ④「分離放線菌の抗生物質耐性変異に関する研究」

大阪府立園芸高等学校 バイオサイエンス科 微生物部

2年 須藤 暁、富田 悠稀、荻野 碧人、小西 一輔、酒井 彩那、大益 美優

1年 宇田川 翼、川合 皓太、東 菜々子、大庭 匠翔



{ 佳作 }

- ①「青みかんの有効利用法」 ～青みかんジャム製造～  
大阪府立園芸高等学校 バイオサイエンス科  
3年 水越 希美、大辻向日葵
- ②「青みかんの有効利用法」 ～ブルーオランジェット製造～  
大阪府立園芸高等学校 バイオサイエンス科  
3年 谷 萌々香

**作 文**

{ 優秀賞 }

- ①「来年こそ測量競技会を開催してください」  
大阪府立園芸高等学校 環境緑化科  
3年 梅尾 菜々香
- ②「府大高専に合格して」  
大阪市立都島工業高等学校 機械電気科  
3年 藤井 雄哉

{ 優良賞 }

- ①「かけがえのない三年間」  
大阪市立都島工業高等学校 電気電子工学科  
3年 門田 修平
- ②「実習の思いで」  
大阪市立都島工業高等学校 理数工学科  
3年 山崎 翔

{ 佳作 }

- ①「先輩に学ぶ」  
大阪府立園芸高等学校 環境緑化科 ビオトープ部  
2年 薩摩 祐太
- ②「高校生活で学んだこと」  
大阪市立都島工業高等学校 機械科  
3年 廣野亜沙香

作品の審査に、元大阪府立園芸高等学校 校長 秋澤亮一 先生及び元大阪府立西野田工科高等学校 校長 福岡 優 先生には、多大なご協力をいただきました。

## (7) 資料(要望書1)

### ◆要望書

産業教育予算確保等産業教育振興に関し、各教育委員会及び大阪府に、次のとおり陳情した。

令和2年9月16日

教育委員会

教育長

様

大阪実業教育協会

会長 坂元 龍三

(東洋紡株式会社 相談役)

大阪産業教育振興協議会

会長 草島 葉子

(興國高等学校 理事長・校長)

### 令和2年度産業教育振興に関する要望書

大阪府教育委員会におかれましては、平素から産業教育の振興に格段のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

今日の我が国においては、AIやIoTなどの技術の急速な発展に伴い、産業・就業構造が大きく変わると言われています。そして少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少もあり、深刻な人手不足など、将来にとって危惧すべき課題が山積しています。急速に変わる世の中の動きに専門高校の人的、物的な教育資源・環境が追いついていないのが現状であり、専門的な知識、技術・技能を身につけた職業人を必要とする社会全体からの要請に応える上で憂慮すべき状況があります。また、加えて今年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大が専門高校の教育活動に極めて甚大な影響を及ぼしています。

我が国が将来にわたって豊かな社会を築いていく上で、技術・技能の後継者や高齢化社会を支える医療・福祉を担う人材は必要であり、専門学科・総合学科高等学校への期待は大きなものがあります。

府内における専門学科・総合学科高等学校では、実践的・体験的な学習活動により、学校毎に特色ある教育の推進に努められ、専門的な知識、技術・技能を身につけた職業人を育成・輩出して来られました。平成26年度からは、府内におけるものづくり教育の活性化に向け、工科高校を高大連携重点型・実践的技能養成重点型・地域産業連携重点型に分類し人材育成の重点化を図られています。

令和元年4月、中央教育審議会に「新しい時代の初等中等教育の在り方について」諮問がなされ、今後「新時代に対応した高等学校の在り方について」議論が進められています。大阪府におかれましては策定された再編整備計画を基本に、専門高校の果たす役割と意義を明確にいただき、重要な責務として、産業教育振興法の趣旨に則り、産業界の中核となる人材育成を目的とする産業教育振興についてご理解・ご支援をいただきますとともに、新年度予算編成にあたり、下記の事項に関して、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

#### 記

#### 1 産業教育担当教職員の養成・採用・研修等の充実について

日進月歩の科学・技術の進展に対応した教育ができるよう、産業教育担当教員の専門性の深化を図るなど、資質を高めることが不可欠であり、各高校の活性化および特色化が円滑に推進で

きるよう、意欲ある若手教員の採用が必要であります。

特に次の項目についてご配慮をお願いします。

- (1) 専門教科担当教員の大学等での養成の拡充（高大連携）
- (2) 専門教科担当教員の採用枠の拡大（定数の改善）
- (3) 産業教育担当教員の専門性を高める研修の実施  
（技術教育の充実、技能伝承に関する現職教育の充実）
- (4) 社会人実務経験者への特別免許状の授与及び社会人講師任用の促進

## 2 産業教育施設・設備の整備促進について

近年の産業界の画期的な技術革新、高度情報通信化等の推進に対応するため、設備の更新をしていただいているところですが、特に次の項目についてご配慮をお願いします。

- (1) 専門学科・総合学科高校に先端技術対応施設・設備の整備充実
- (2) 従来的一般設備費に関する予算の増額
- (3) 耐用年数を超過して使用している老朽化した施設・設備の計画的な改善整備
- (4) 学校内通信ネットワーク（オンライン授業を可能にする）の通信環境の整備

## 3 教育制度の革新について

今後の社会の変化に対応できるよう、次の項目について実現をお願いします。

- (1) 将来を展望した特色ある系・学科の新設・改編を引き続き促進充実
- (2) 個性重視への配慮として、多様なコース制や課題研究など選択幅の拡大による弾力的なクラス編成、並びに特色ある学校・系・学科づくりが円滑に推進できるよう、人的・物的条件の整備

## 4 私学産業教育の振興について

産業教育振興法に基づく産業教育設備事業計画についての大阪府補助金（国庫補助金と同額）の交付が昭和 51 年度より停止されています。府内における私立産業教育関係高校の教育振興を図るためにも、大阪府私立高校等教育振興補助金の拡充等について、なお一層のご配慮をお願いします。

## 5 進路指導等の改善充実について

新型コロナウイルス感染症が教育活動に極めて甚大な影響を及ぼしていることから、就職活動への配慮をお願いします。（各種資格検定試験の中止等を踏まえた選考や選考開始期日（10 月 16 日）の遵守等）

進路指導の改善充実を促進するため、次の項目について実現をお願いします。

- (1) 専門学科・総合学科卒業者に対する雇用機会の一層の拡充確保
- (2) 就業体験・社会奉仕・自然体験等の体験活動の普及促進と受入れ企業・団体等に対する支援
- (3) 産業教育活性化とその啓発に大きな成果を上げている「大阪府産業教育フェア」に要する補助金の増額
- (4) 各種職業資格・検定等の拡充と取得対策の推進
- (5) 大学、地域社会及び産業界等との連携や協力関係の強化

## 6 大学入学者選抜方法の改善について

大学、短大における入学者選抜について、一層の改善が図られるようご支援をお願いします。

- (1) 「専門高校・総合学科卒業生選抜」制度導入の拡大及び「推薦入学」制度の拡大
- (2) 調査書における専門科目の学習成果、特技及び取得した職業資格等の重視、インターンシッ

ブ活動等への配慮

(3) 学力検査への専門科目の導入と拡大

(4) 専門高校卒業者への補習授業や特別カリキュラムの実施の拡大

#### 7 専門高校の理解・啓発について

専門高校は、わが国の産業経済、科学技術の発展のためのスペシャリスト育成への重要な役割を果たして来ました。専門高校について、小・中学校をはじめとする社会一般への理解、認識を深めるなどの啓発、さらには、専門学科等で知識・技術を修得した者が、重要視される社会的な風潮を醸成するための啓発を一層図られるようお願いいたします。

(1) 中学校の進路指導等における専門高校の教育実践についての啓発

(2) 専門高校生徒の学習成果の発表、理解・啓発の機会となる「産業教育フェア」の充実

(3) 専門高校生徒の長期間インターンシップの受入れ企業等への普及促進

## (8) 資料（要望書2）

### ◆要 望 書

大学入学選抜における推薦入学制の採用・拡大について、両会長名をもって府内各大学に、次のとおり要望を行った。

令和2年10月5日

大学  
学長 様

大阪実業教育協会

会長 坂 元 龍 三

(東洋紡株式会社 相談役)

大阪産業教育振興協議会

会長 草 島 葉 子

(興國高等学校 理事長・校長)

### 大学入学者選抜に関する要望

専門高等学校（以下「専門高校」）からの大学入学者選抜に関しては、公益財団法人産業教育振興中央会並びに全国産業教育振興連絡協議会において、従来から対策実行委員会を設け、関係団体への陳情を推進して参りました。

「専門高校における教育の在り方等について」生涯学習推進の視点から、継続的に専門能力の向上を図るために、専門高校卒業生に大学などの多様な学習機会を拡大することの重要性が指摘されています。

そのためには、大学入学者選抜において「専門高校及び総合学科を有する高校の卒業生選抜・推薦入学」の一層の拡大、可否判定に当たっての「職業資格重視」、学力試験での「専門教科・科目の出題」などの配慮や工夫が求められています。このことにつきましては、各専門高等学校長協会ともども全国的に強力な運動を推進しております。

つきましては、別添の要望書をご高覧賜り、何とぞ特段のご高配をいただきますようお願い申し上げます。

特に、民間企業の採用意欲が高い現在、専門高校教員の確保につきましては厳しい状況があります。貴大学におかれましては、我が国の産業教育の重要性に鑑み教員の養成に一層のお力添えをお願いいたします。

専門高校出身の専門科目担当教員は、今まで専門技術に卓越し、実践力に富み、実験・実習の指導に優れた成果を収めていることから、このような教員の養成、確保・採用は全国の専門高校においての共通の課題であり、強い要望であることを申し添えます。

## (9) 資料 (要望書 3)

### ◆要 望 書

専門高校卒業生の採用について、産振中央会とともに大阪実業教育協会と大阪産業教育振興協議会の両会長等をもって、在阪経済三団体（大阪商工会議所、関西経済連合会、関西経済同友会）に次の通り陳情を行った。

令和2年9月17日

大阪商工会議所 様  
関西経済連合会 様  
関西経済同友会 様

大阪実業教育協会  
会長 坂 元 龍 三  
(東洋紡株式会社 相談役)  
大阪産業教育振興協議会  
会長 草 島 葉 子  
(興國高等学校 理事長・校長)

### 専門高校卒業生の採用に関する陳情

( 農業・工業・商業・家庭・看護・情報・福祉等の専門学科及び総合学科 )

平素から産業教育の振興発展のために、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、近年の傾向として、求人件数が右肩上がりに増加し、企業の採用意欲が高く、令和2年3月末高等学校新規卒業者の就職状況についてはおおむね好調であり、文部科学省調査によれば、全国平均が98.1%で、前年同期の98.2%から、0.1ポイント減の結果となりました。

男女別では、男子 98.5% (前年同期比同)、女子 97.5% (前年同期比 0.1ポイント減)、学科別では、「工業」99.5%、「農業」98.7%、「商業」98.9%、「水産」98.8%、「家庭」98.6%、「看護」98.9%、「情報」98.5%、「福祉」98.7%、「総合学科」97.5%、「普通」96.7% でありました。

高等学校新規卒業者の求人の動向は、製造業から福祉等のサービス業に大きくシフトするなど、社会情勢や景気動向に影響を受けやすい傾向にあります。

今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、感染防止対策を実施しながらの就職活動や選考開始期日等の変更など、例年と異なる就職環境にある中、生徒が安心して就職活動に臨めるよう、中長期的な視点に立って採用を進めて頂き、引き続き、令和3年3月卒業予定者のための就職機会の確保に向けた努力をお願いします。

現状の課題として、就職後3年以内の離職率が39.3%（厚生労働省全国調査）にのぼっています。昨年（2020年度）の全国工業高校校長協会近畿地区の調査では、18.6%となっております。

専門高校では、より確かな社会人基礎力を身につけて卒業し、我が国の将来を担う専門的職業人となることをめざしています。

専門高校の指導の基本は、①専門教科及び実習を通して、基礎学力の向上や共同で課題を解決する能力の育成、②基本的生活習慣の指導を通して、礼儀や規律の遵守、③進路指導を通して、職業意識の向上や勤労観・職業観の育成（キャリア教育）などであり、在学中に、職業資格取得や検定合格などを積極的にすすめることにより、その達成感が、更なる意欲の向上につながるよう、人間形成の面でも職業意識の涵養が図れるよう指導の改善に努めております。つきましては、今後とも、専門高校の教育になお一層のご理解を賜り、前途有為な卒業生の採用について、特段のご高配をくださいますようお願いいたします。

## (10) 部会長委嘱

### ◆部会長の委嘱

次の方々に各部会長を委嘱し、今後の部会活動の発展を期することとした。

|         |              |    |        |
|---------|--------------|----|--------|
| 農業教育部会長 | 大阪府立園芸高等学校   | 校長 | 真鍋政明様  |
| 工業教育部会長 | 大阪府立堺工科高等学校  | 校長 | 中田浩史様  |
| 商業教育部会長 | 大阪市立住吉商業高等学校 | 校長 | 杵本多佳志様 |

## (11) 会議報告

### ◆第1回合同役員会（部会長・幹事校長会（旧会則で運営））

令和2年5月8日（金）15：30～16：30 電話会議（出席者：17名）

協議事項（次の内容は、会議時点のものです）

1. 令和2年度新役員の承認について
2. 大阪実業教育協会 令和2年度総会について
3. 教員研修会等 その他
  - ① 研究協議 講演会（第1回）
  - ② 専門高校教員実技講習会（第42回）
  - ③ 国内産業教育研修員の派遣（教頭研修）
  - ④ 協会の会則と基盤強化について
  - ⑤ 預かり金（全国産業教育フェア大阪大会）の取り扱い
  - ⑥ 第30全国産業教育フェア大分大会 10月24日（土）～25日（日）
  - ⑦ 会員大学への見学会の実施について
  - ⑧ 令和2年度大阪産業教育振興協議会総会・研究協議会について
  - ⑨ 各種要望書の提出

【以上原案通り承認されました】



## 報 告 事 項

1. 各種要望書は例年通り関係機関・団体等へ陳情
2. 産業教育振興中央会関係（産振中央会）
  - ① 春季全国産業教育振興連絡会議（東京）…………… 中止（書面審議）
  - ② 第 62 回全国産業教育振興大会（大分大会）（令和 2 年 10 月 24 日）…………… 中止（書面審議）
3. 産業教育振興中央会の事業
  - ① 「令和 2 年度海外産業教育事情視察派遣候補者」の推薦について…………… 中止
  - ② 「令和 2 年度御下賜金記念産業教育功労者表彰候補者」の推薦について
  - ③ 「令和 2 年度産業教育改善に関する特別研究」助成について
  - ④ 「令和 2 年度産業実地研修事業の実施」について
  - ⑤ 「令和 2 年度専門高等学校生徒の研究文・作文コンクール参加作品」募集について
4. 令和 2 年度大阪産業教育振興協議会総会（案）

令和 2 年 6 月 26 日（金） 14 時 45 分～

  - ① 役員改選及び組織の関係（実教と本協議会、中央会と全産協）
  - ② 令和元年度事業・会計報告（案）
  - ③ 令和 2 年度令和元年度事業・予算計画（案）
  - ④ 「会則改正」（保存版）確認について
  - ⑤ 「第 30 回全国産業教育フェア」（大分大会）への派遣について
  - ⑥ 府産業教育フェアの預かり金から派遣の助成及び会場への作品運搬費用などについて
  - ⑦ その他
    - ・「産業教育振興に関する要望書」及び「専門高校卒業生の採用に関する陳情」等
    - ・大学訪問及び要望について

### ◆令和 2 年度 第 2 回 合同役員・幹事会（（新会則で運営））

令和 2 年 9 月 11 日（金）15：30～16：30 電話会議で実施（出席者：17 名）

#### 協 議 事 項

1. 産業教育講演会（第 2 回）⇒ オンラインでの講演会が実施できないか検討（Google meet）

日時 令和 2 年 11 月 27 日（金）（予定）

形式 オンライン講演会

演題 「Society 5.0 時代の教育について」

講師 大阪工業大学工学部 電子情報システム工学科 教授 小寺 正敏 様
2. 協会の会則と基盤強化について
3. その他（預かり金（全国産業教育フェア大阪大会）の取り扱い）

【以上原案通り承認されました】

#### 報告・依頼事項

1. 要望・陳情書 について
2. 国内産業教育研修員派遣（教頭研修）

本年度は新型コロナ感染拡大防止の観点から**中止**
3. 実技講習会 本年度は新型コロナ感染拡大防止の観点から**中止**
4. 見学研修 本年度は、新型コロナ感染拡大防止の観点から**中止**
5. 大学会員の大学見学会について 本年度は、新型コロナ感染拡大防止の観点から**中止**

6. 御下賜金記念産業教育功労者表彰について（産業教育振興中央会の事業）
  - ・表彰伝達式：令和2年11月4日（水） 東洋紡株式会社 本社
  - ・申請：大阪府10名、大阪市13名 計23名（結果は9月中旬の予定）
7. 御下賜金記念専門高校優良卒業生の選奨について（産業教育振興中央会の事業）
  - ・中央会（専門高校等御下賜金記念優良卒業生選奨事業）：各校1名
  - ・本協会及び大阪産業教育振興協議会連名で表彰：各校2名（副賞付）
8. 「令和2年度 専門高等学校生徒の研究文・作文コンクール参加作品」の募集  
（産業教育振興中央会の事業及び本協会及び大阪産業教育振興協議会の事業）  
令和2年9月9日（水）締切り（当協会）、中央会締切り 令和2年9月16日（水）
9. 第30回全国産業教育フェア大分大会  
「令和2年10月24日（土）・25日（日）開催予定でしたが、新型コロナウイルスの感染症の感染拡大により、10月24日（土）の1日のみの開催とし、参集型開催とインターネット開催を融合させたフェアとなります。  
本年度の全国産業教育フェア（大分大会）には、大阪府と事務局からは不参加



## (15) 令和3年度 事業計画

(参考資料) 理事役員の方々からの事業評価についてのご意見のまとめ (令和3年3月)

○全体的に、各事業についてコロナ禍での実施方法を工夫する必要がある。

### 1. 国内産業研修員の派遣(教頭研修)

- ・管理職が見聞を広げることは、専門高校の学校運営に資することから継続的な実施が望ましい。
- ・現状にマッチした派遣しやすい方法の検討が必要と考える。  
(教頭の参加が無理なら、次期教頭候補者が参加する等)
- ・事業内容の検討をしてはどうか？(研修の補助・支援等)
- ・研修者の発表の機会があれば良いのではと思われる。

### 2. 実業家・教育者・教育行政当局者との連絡協力を図る事業(要望書・陳情書)

- ・大阪万博へ向けて、専門高校生が活動できる場があるか調査してみたい。
- ・大阪万博への関わりは、高校生がその後の人生で役に立つ経験ができる貴重な経験の機会である。
- ・専門高校における教育の専門性について、評価されるようにインターンシップ等の機会を拡充し、さらなる広報活動が必要である。
- ・大阪万博への関わりは、高校生がその後の人生で役に立つ経験ができる貴重な機会である。
- ・専門高校生が卒業後、専門分野の研究をさらに深められるよう高大連携体制の充実が必要である。

### 3. 産業教育に関する教員の研究活動、研修などに協力する事業(講演会)

- ・人数を絞り開催検討する。
- ・産業教育に関する取り組みの発信の為に研究協議会は必要であり、オンラインでの開催も必要である。

### 4. 産業教育に関する教員の研究活動、研修などに協力する事業

- ・専門高校教員実技講習会は教員の技術向上の為に必要である。
- ・見学研修会(会社・工場見学)も教員の知見を深める良い機会であるので、コロナ感染対策に配慮し継続すべきである。
- ・企業の研究所等から最新技術に関する講演も必要ではないか。
- ・産業教育功労者表彰は教員の意欲向上につながるので継続して欲しい。
- ・大学の見学は、Webオープンキャンパスに参加する方法も考えられる。

### 5. 生徒に対する研究活動の奨励

- ・参加者を増やすために、テーマ設定を工夫する必要がある。例えばDX関連とか現在の社会の流れから考えるように工夫する必要がある。
- ・指導教員の意識改革をして、生徒に働きかける必要がある。
- ・専門高校生の日々の研究成果の発信の為に必要な事業である。

### 6. 専門高等学校優良卒業生の選奨

- ・専門高校生の意欲向上に寄与しているので、継続して実施していただきたい。

### 7. 協会基盤強化の取組み新規加入依頼

- ・大企業の採用実態を踏まえ勧誘していく。
- ・貴協会の取組や実績・成果のさらなる発信が必要であると考ええる。
- ・企業や大学が会員となることのメリットを見いだせないと、新規会員の拡大は困難であると考ええる。
- ・閲覧数が増加するよう、貴協会のwebページを刷新することが望ましい。
- ・貴協会のwebページ上で、会員企業・大学をPRするなどの工夫が望まれる。
- ・粘り強く、協会が専門高校生の支援に役立っていることを説明することが必要。

## 令和3年（2021年）度事業計画（案）

・令和2年度の事業評価を参考に、事業計画を現状に合わせて変更しました。

- 1 国内産業研修員の派遣
- 2 実業家・教育者・教育行政当局者との連絡協力を図る事業  
（企業、大学と学校との情報交換等）
- 3 産業教育に関する教員の研究活動の奨励及び研修などに協力する事業  
（講演会・研修会・見学研修会（企業、大学）等）
- 4 生徒に対する研究活動の奨励（研究文・作文・体験発表等と表彰）
- 5 産業教育功労者の表彰及び専門高等学校優良卒業生の選奨
- 6 産業教育に関し、公私の諮問に応え、または意見を開申する
- 7 協会基盤強化の取組み
- 8 その他必要と認める事業

## (17) 関連事業・行事

### ◇大学入学者選抜に関する要望

文部科学省・大学関係団体 様  
大阪近郊 国・公・私立大学学長 様

令和2年7月22日

### 専門高校生徒の進学機会の拡大等に関する要望書

(農業・工業・商業・水産・家庭・看護)  
情報・福祉の専門学科及び総合学科)

公益財団法人産業教育振興中央会  
全国産業教育振興会連絡協議会  
全国農業高等学校長協会  
公益社団法人全国工業高等学校長協会  
全国商業高等学校長協会  
全国水産高等学校長協会  
全国高等学校長協会家庭部会  
全国看護高等学校長協会  
全国専門学科「情報科」高等学校長会  
全国福祉高等学校長会  
全国総合学科高等学校長協会

### 専門高校生徒の進学機会の拡大等に関する要望

農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報、福祉の専門学科及び総合学科を設置する高等学校（以下「専門高校」）では、職業に関する教育を行うことにより、我が国の将来を担う専門的職業人を育てるという重要な役割を持っています。

今日、我が国においては、人工知能 AI や IoT などの技術の急速な発展に伴う Society5.0 が実現する時代に入り、第4次産業革命が進展するなど産業構造も大きく変化し、これまで人が担っていた仕事の領域が大きく変わるなど、職業に必要とされる知識・技術も高度化してきています。このような中、専門高校の生徒は、専門高校で身に付けた専門的な知識、技術・技能を更に高め、かつ、より高度な資格取得を目指すため、大学、短期大学等の高等教育機関への進学を目指す者が多くなっています。しかしながら、専門高校はその目的から、普通科の高校とは教育課程も大きく異なり、普通科の生徒を念頭に置いた入学者選抜試験においては、極めて不利な状況にあります。

また、とりわけ今年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、専門高校生徒を対象とした各種コンテストや、生徒が取得を目指す各種資格・検定試験等が中止、延期又は規模縮小等となり、入学者選抜にお

ける評価に不利が生じるとの不安もあります。さらには、新型コロナウイルス感染症の影響により経済的負担が増大した保護者への経済的負担の軽減措置も喫緊の課題です。

このため、高等教育機関へ進学する専門高校の生徒の進学機会の拡大等に係る次の事項について、特段のご理解とご高配をお願いいたします。

#### 1 専門高校卒業生を対象とした入学者選抜の実施・拡充

- (1) 大学入学者選抜における「総合型選抜」「学校推薦型選抜」の適切な活用及び「専門学科・総合学科卒業生選抜」の積極的な導入
- (2) 各種国家資格、専門高校の校長会等が実施する各種検定及び認定制度、農業クラブや家庭クラブ、生徒商業研究発表大会をはじめとする生徒の各種発表会等での活動の実績、インターンシップ等の体験活動を評価した入学者選抜の実施
- (3) 専門教科（簿記など）を取り入れた「大学入学共通テスト」の実施・拡充

#### 2 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に対応した入学者選抜における配慮

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、臨時休校等が実施されていること、及び専門高校生徒を対象とした各種コンテスト、生徒が取得を目指す各種資格・検定試験等が中止、延期又は規模縮小等となっていることから、大学入学者選抜における「総合型選抜」「学校推薦型選抜」での配慮、専修学校専門課程における「専門学校入学者選抜」での配慮

#### 3 各種国家資格、専門高校の校長会等が実施する各種検定等で取得した資格を大学等における単位として認定する制度の拡充

#### 4 「専門職大学・専門職短期大学」の充実

- (1) 専門高校での専門教育を踏まえた専門職大学・専門職短期大学の設置促進
- (2) 専門高校の特性を踏まえた活動等を重視した入学者選抜の実施
- (3) 専門高校での教育を踏まえた連携、継続した「カリキュラム」の編成等（普通科からの入学者との相違を踏まえた「カリキュラム」の設定等）

#### 5 高等学校専攻科からの大学編入学の積極的な受入

#### 6 大学等進学後の給付型奨学金及び授業料減免制度の拡充・充実

## ◇専門高校生徒の就職に関する要望書

文部科学省・厚生労働省・産業経済団体 様  
〔(公社) 関西経済連合会・大阪商工会議所・関西経済同友会〕 様

令和2年7月22日

## 専門高校生徒の就職に関する要望書

(農業・工業・商業・水産・家庭・看護)  
(情報・福祉の専門学科及び総合学科)

公益財団法人産業教育振興中央会  
全国産業教育振興会連絡協議会  
全国農業高等学校長協会  
公益社団法人全国工業高等学校長協会  
全国商業高等学校長協会  
全国水産高等学校長協会  
全国高等学校長協会家庭部会  
全国看護高等学校長協会  
全国専門学科「情報科」高等学校長会  
全国福祉高等学校長会  
全国総合学科高等学校長協会

## 専門高校生徒の就職に関する要望

農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報、福祉の専門学科及び総合学科を設置する高等学校（以下「専門高校」）は、実験・実習を多く取り入れた実践的・体験的な学習活動により、各種国家資格などの取得に努めるなど、専門的な知識、技術、技能を修得させると共に、社会人・職業人としての勤労観・職業観を身に付けた我が国の将来を担う専門的職業人を育てる重要な役割を果たしています。

今日、我が国においては、人工知能 AI や IoT などの技術の急速な発展に伴う Society5.0 が到来するとともに、グローバルな競争が激化し、第4次産業革命が進展するなど産業構造も大きく変化し、これまで人が担っていた仕事の領域が大きく変わり、かつ職業人として求められる知識、技術・技能も高度化・専門化しています。さらには、我が国社会においては、急速な少子高齢化の進展に伴う生産年齢人口の減少、地方の若年世代の大都市圏への流出による地方経済の縮小、深刻な人手不足など、我が国の将来にとって危惧すべき課題が山積しています。

近年、専門高校卒業者の就職状況は好調を堅持しており、採用した企業での評価も高いものがあります。そして何よりも専門高校の卒業者は地域経済の担い手として重要な役割を期待されています。

しかしながら、今年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響等により、就職に関する不確定な要素が増している状況であり、また、専門高校においても臨時休校等の影響による就職準備期間の不足や、生徒を対象とした各種コンテスト、生徒が取得を目指す各種資格・検定試験等の中止、延期又は縮小等により就職活動に必要な各種資格取得に不安を持っている生徒が多数います。

各経済団体、各企業、文部科学省、厚生労働省、経済産業省におかれましては、専門高校卒業予定者のた

めの就職機会の確保に向けた次の事項について、引き続き特段のご理解とご高配をお願いいたします。

1 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を踏まえた就職活動への配慮

- ・生徒の学業に負担をかけない就職活動への配慮、及び選考開始期日（9月16日）の遵守
- ・各種コンテスト、資格検定試験等が中止、延期又は縮小となっていることを踏まえた採用選考の実施

2 専門高校卒業生の採用枠の拡大

企業等における専門高校卒業生の採用枠の拡大及び各種国家資格、専門高校の校長会等が実施する各種検定及び認定制度、農業クラブや家庭クラブ、生徒商業研究発表大会をはじめとする生徒の各種発表会等での活動の実績、インターンシップ等の体験活動を評価した採用

3 地元企業等への雇用機会の拡大

地方創生の実現において、地元志向の高い専門高校卒業生の果たす役割は重要であることを踏まえた、地元における雇用創出について特段の取組

4 女子採用の促進

男女共同参画社会の実現の上からも、女子採用の促進と採用後の就労等についての特段の取組

5 「高等学校卒業者の就職の慣行」の適切な運用

学業を優先した健全な学校教育の実施と適正な就職の機会を維持するための、地域の実情に応じた、いわゆる一人一社制をはじめとした「高等学校卒業者の就職の慣行」の適切な運用

## ◇令和2年度 公益財団法人産業教育振興中央会理事会・評議員会

日 時 令和2年5月21日(木)  
会 場 工業教育会館 2階ホール  
議 案

- 1 令和元年度事業の概要
- 2 令和元年度事業の実施状況
- 3 役員会等の開催状況
- 4 会員の状況 ①産業経済界・各団体 51団体  
②学校会員 1,709校 個人会員 216名  
③賛助会員 1団体
- 5 役員会の開催状況
- 6 令和元年度収支決算報告
- 8 令和元年度事業計画
- 9 令和元年度収支予算案

なお、詳細な内容については、冊子「産業と教育」令和平成2年6月号812号「本会の関係行事」を参照してください。

## ◇令和2年度全国産業教育振興会連絡協議会総会

### 及び公益財団法人産業教育振興中央会参与・学校代表委員会議

日 時 令和2年10月24日(土)  
場 所 ホテル日航大分オアシスタワー(大分県大分市)

①令和2年度全国産業教育振興会連絡協議会総会  
②令和2年度公益財団法人産業教育振興中央会参与・学校代表委員会議  
は、新型コロナウイルス感染の影響により中止になりました。

## 第30回全国産業教育フェア大分大会 ーさんフェア大分2020

- 1 期 日 令和2年10月24日(土)
- 2 会 場 ・別府ビーコンプラザ  
・インターネット開催
  - ①動画配信 ・開催県デモンストレーション発表  
・大分県紹介・参加交流イベント・作品・研究発表・意見・体験発表  
・SPH事業発表
  - ②ネット販売 令和2年10月中旬～令和3年3月末
- 3 開催内容 (1) 総合開会式・総合閉会式
  - ア 総合開会式 10月24日(土)9:00～10:00  
会 場 別府ビーコンプラザ コンベンションホール  
内 容 開会式典、オープニングアトラクション
  - イ 総合閉会式 10月24日(土)14:00～15:00



会 場 別府ビーコンプラザ コンベンションホール  
内 容 閉会式典

### 第31回全国産業教育フェア埼玉大会 ーさんフェア埼玉 2021

「夢と技術 彩の国から未来へ」

- 1 期 日 令和3年10月30日（土）
- 2 会 場 ・ウエスタ川越（メイン会場）  
・川越運動公園総合体育館（全国高等学校ロボット競技大会）  
・埼玉県立川越総合高等学校（フラワーアレンジコンテスト、クッキングコンテスト）  
・彩の国すこやかプラザ（全国高校生介護技術コンテスト）
- 3 開催内容 (1) 総合開会式・総合閉会式  
ア 総合開会式 10月30日（土）9：00～10：00  
会 場 ウエスタ川越  
内 容 開会式典、オープニングアトラクション  
イ 総合閉会式 10月30日（土）14：00～15：00  
会 場 ウエスタ川越  
内 容 閉会式典

### ◇全国産業教育フェア開催都道府県一覧

|      |      |      |      |      |      |      |       |
|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 第1回  | H 3  | 千葉県  | 千葉市  | 第17回 | H 19 | 沖縄県  | 宜野湾市他 |
| 第2回  | H 4  | 静岡県  | 静岡市  | 第18回 | H 20 | 大阪府  | 大阪市他  |
| 第3回  | H 5  | 富山県  | 富山市  | 第19回 | H 21 | 神奈川県 | 横浜市他  |
| 第4回  | H 6  | 京都府  | 京都市  | 第20回 | H 22 | 茨城県  | つくば市他 |
| 第5回  | H 7  | 和歌山県 | 和歌山市 | 第21回 | H 23 | 鹿児島県 | 鹿児島市他 |
| 第6回  | H 8  | 山形県  | 山形市他 | 第22回 | H 24 | 岡山県  | 岡山市   |
| 第7回  | H 9  | 群馬県  | 群馬県  | 第23回 | H 25 | 愛知県  | 名古屋市他 |
| 第8回  | H 10 | 福岡県  | 福岡市  | 第24回 | H 26 | 宮城県  | 名取市他  |
| 第9回  | H 11 | 島根県  | 松江市他 | 第25回 | H 27 | 三重県  | 伊勢市他  |
| 第10回 | H 12 | 徳島県  | 徳島市他 | 第26回 | H 28 | 石川県  | 金沢市他  |
| 第11回 | H 13 | 岐阜県  | 岐阜市  | 第27回 | H 29 | 秋田県  | 秋田市   |
| 第12回 | H 14 | 岩手県  | 盛岡市他 | 第28回 | H 30 | 山口県  | 山口市他  |
| 第13回 | H 15 | 北海道  | 札幌市  | 第29回 | R 1  | 新潟県  | 新潟市他  |
| 第14回 | H 16 | 広島県  | 広島市他 | 第30回 | R 2  | 大分県  | 別府市   |
| 第15回 | H 17 | 東京都  | 東京都  | 第31回 | R 3  | 埼玉県  | 川越市   |
| 第16回 | H 18 | 埼玉県  | 埼玉市他 | 第32回 | R 4  |      |       |

## (18) 会 則

(令和2年5月25日改正即日実施)

(名称)

第1条 本会は大阪実業教育協会と称する。

(設置場所)

第2条 本会の事務所は大阪市に置く。

(目的)

第3条 本会は実業家・教育行政当事者・教育者との協力により実業教育の改善振興を図ることを目的とする。

(事業)

第4条 本会はその目的を達成するため下記の事業を行なう。

1. 実業家・教育行政当事者・教育者の連携協力を図るための諸般の会合を催すこと。
2. 産業界及び教育行政機関と実業教育関係者との連携協力に関すること。
3. 教員の研究活動の奨励及び研修に関すること。
4. 教員の実務講習・実務見学並に実業家の学校視察等に関すること。
5. 実業教育に関し、公私機関の諮問に応え又は意見の具申に関すること。
6. 実業教育を学ぶ生徒の学習の奨励及び調査研究等推進に関すること。
7. その他必要と認める事業を行うこと。

(組織)

第5条 本会は実業家・実業教育者及びその関係者で組織する。

(会費)

第6条 会費（年会費）は、毎年総会後に拠出するものとする

1. 学校会費は、次に定める。

生徒数

- |                        |          |
|------------------------|----------|
| (1) 500 人未満            | 6,000 円  |
| (2) 500 人以上750 人未満     | 12,000 円 |
| (3) 750 人以上 1,000 人未満  | 18,000 円 |
| (4) 1,000 人以上1,250 人未満 | 24,000 円 |
| (5) 1,250 人以上          | 30,000 円 |
- (6) 総合高校は職業系の生徒数、定時制・通信制は生徒数の半数をもって換算する。
  2. 会社会費及び大学会費は1口30,000円以上とする。
  3. 個人（元実業高校校長・准校長）会費は1口10,000円以上とする。
  4. 校長・准校長会費は2,000円を拠出する。

(総会)

第7条 会員総会は原則として毎年5月に開き、諸般の報告をし、議案の承認を求める。  
但し、必要あるときは臨時に開催する。

(決議)

第8条 会員総会の議事は出席会員の過半数で決し、可否同数のときは議長が決する。

(役員)

第9条 本会は下記の役員を置き任期を2年とする。但し重任を妨げない。

1. 会 長 1 名
2. 理事長 1 名
3. 理 事 若干名 (内1名を専務理事、及び常務理事若干名とする)
4. 監 事 若干名
5. 幹 事 若干名

(役員を選出)

第10条 理事、監事、幹事は会員総会において選挙し、会長、理事長、専務理事、常務理事は理事会において互選する。

(会長)

第11条 会長は本会を代表し、会員総会を招集し、その議長となる。

- 2 会長は、理事長の具申に応じるとともに、理事会での諮問事項について、参考意見を述べる。

(理事長)

第12条 理事長は会長を補佐し、会務を統理し、会長に事故あるときは之を代理する。

- 2 理事長は理事会を招集し、その議長となる。
- 3 理事長は合同役員・幹事会を招集し、理事会及び総会に付議する議案について協議する。その議長は幹事から互選する。

(理事)

第13条 理事は重要な会務を審議し、専務理事・常務理事は、一般会務を執行する。

(監事)

第14条 監事は会務を監査する。

- 2 監事は理事会に出席し、会計状況について意見を述べる。

(幹事)

第15条 幹事は会長の旨を承けて会務を処弁する。

(顧問・名誉会長・相談役)

第16条 本会に顧問・名誉会長・相談役を置くことができ、理事会の決議により会長がこれを推薦する。

(理事会)

第17条 理事会は全ての理事及び監事をもって構成する。

- 2 理事会は重要な会務及び役員人事について審議し、業務を監督する。
- 3 臨時理事会は理事長が必要と認めた時、開催する。
- 4 理事会の決議は、理事の過半数が出席(止むを得ないときは、代理人による出席を認める)し、その過半数とする。
- 5 理事会の決議には、書面又は電磁的方法によって議決に出席可能とする。

(合同役員・幹事会)

第18条 合同役員・幹事会は、本会全ての幹事(役員第9条—5の幹事)、部会の会長、産業教育振興中央会学校代表、大阪産業教育振興協議会長により構成する。

- 2 合同役員・幹事会には、会長会社・理事長会社よりの代表、専務理事(事務局)、常務理事及び専務理事経験者が参加し、理事会との連携を図る。
- 3 合同役員・幹事会は理事会に付議する議案について協議する。

(事務局)

第19条 本会に書記若干名を置き会長が任命又は嘱託する。必要に応じ事務局長を置くことができる。

(委員会)

第20条 会長は必要に応じ特に委員会を設けることができる。

(部会)

第21条 本会の事業を遂行するため下記の部会を設け、会長が部会長を委嘱する。

工業教育部会

商業教育部会

農業教育部会

(会計年度)

第22条 会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終る。

(会則の変更)

第23条 本会々則の改廃は会員総会の決議による。

# 総 会 （5月中旬）

## 顧問

大阪府知事  
大阪市長  
大阪商工会議所会頭

## 名誉会長

津村 準二（東洋紡 名誉顧問）

## 理事会（5月初旬）

## 合同役員・幹事会

（4月下旬・9月上旬）

## 理 事

会長  
理事長  
専務理事  
常務理事  
理事（実業家・大学・教育行政）

会長会社 より 1 名  
理事長会社より 1 名

専務理事（事務局）  
常務理事  
専務理事経験者

## 監 事

三井住友銀行より  
大阪府立高校校長（1名）

## 幹 事

幹事（実業家）  
幹事（教育行政）  
（大阪府教育庁・大阪市教委・私学課）  
幹事（高等学校）  
（大阪府立・大阪市立・都市立・私立）

## 部 会 （3名）

産業教育振興中央会学校代表

大阪産業教育振興協議会会長

幹事 校長会  
（基本的に各校長会時）

### 会議の流れ

総会（5月中旬）⇒ 合同役員・幹事会（9月上旬）⇒ 理事役員へ稟議書にて説明（2～3月）  
⇒ 合同役員・幹事会（4月下旬）⇒ 理事会（5月上旬）⇒ 総会（5月中旬）・・・